



# 不知火っ子だより

第3号

平成29年5月11日 文責 校長 吉永博美

## 「命を守る！」交通安全教室開催

ご家庭でも声かけ、意識付けをよろしくお願いします



10日(水)に交通安全協会から2人の指導員の方をお招きし、交通安全教室を開催しました。

1・2年生には、安全な道路歩行の仕方、3年生以上には安全な自転車の乗り方について分かりやすく、お話をいただきました。どの学年の児童も真剣な表情で聞いていました。

本校では、昨年度2件の交通事故がありました。どちらも児童が押しボタン式の横断歩道を渡っているときの事故です。命に関わるようなことがなかったのは不幸中の幸いです。登校時、正門前で交通指導をしていますが、黄色に信号が変わっても停まらない車はたくさんいます。中には、赤になっているのに突っ走っていく車もあります。子どもたちには、歩行者用の信号が青になっても、車が停まったか確認して渡るように指導しています。自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用させてください。また、ハンドルやブレーキの点検がとても大切です。家庭での点検よろしくお願いします。どんなに注意しても注意過ぎるということはありません。子どもたちの安全意識を高めるために、学校では、安全指導に力を入れたいと思います。ご家庭での声かけ、意識付けも根気強くお願いします。



## 5月28日(日) 運動会

子どもたちも張り切っています。準備等ご協力よろしくお願いします。

### ・・・良い手本がなければ・・・

新しい学級、新しい担任になって、1カ月が過ぎました。少しずつ学級の個性が見え始めたようです。面白いことに、子どもたちは、口調や動作が担任に似てきます。もちろん、感じ方や考え方などにも大きな影響を与えているのだと思います。

それは家庭でも同じことが、いえ、それ以上に大きな影響を与えていることでしょう。

「子供は、親や教師の言う通りにはなりませんが、親や教師のする通りになります。」「なってほしい子供の姿を親も教師も自ら示す努力をしなければならぬということでしょう。」という渡辺和子さんの言葉は胸に響きます。

渡辺和子著 「置かれた場所で咲きなさい」より

文房具類を万引きして捕まった子供に、父親が言ったそうです。「お前は馬鹿だなあ。このぐらいのものなら、いくらでもパパが会社から持って帰ってやったのに」

子供は、親や教師の言う通りにはなりません、親や教師のする通りになります。ですから、子供には、周囲に良い手本がなければならぬのです。「なってほしい子供の姿」を親も教師も自ら示す努力をしなければならぬということでしょう。

子どもは親や教師の  
「いう通り」にはならないが、  
「する通り」になる

※学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。